

様式 4

平成 2 4 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 2 5 年 4 月 3 0 日

学 長 殿

所属部局・職名行政政策学類・准教授

申 請 者 名 丹波 史紀

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・ <u>学会</u> 等) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	日本災害復興学会の開催
事業実施期間	平成 2 4 年 4 月 ~ 平成 2 5 年 3 月
成果の概要	<p>2012 年 10 月 6 ~ 8 日にコラッセふくしま他において、日本災害復興学会を開催した。本学は共催している。</p> <p>一日目は、エクスカーションとして 2 コースに分かれて各 3 0 名程度参加した。A コースは川内村コース、B コースは飯舘村・相馬・南相馬市コースとして現地視察を行った。</p> <p>二日目は、分科会およびポスターセッションであった。分科会は、「復興人材」・「復興まちづくり」・「広域避難」・「生業・生活再建」の 4 つの分科会で、福島県だけでなく岩手・宮城など他県の被災地の復興についても併せて議論した。</p> <p>三日目は、研究発表として、各会員からの自由研究発表を行った。その午後、大会記念公開シンポジウムとして、一般公開した。平野達男復興担当大臣(当時)として、「ふくしまへの帰還と再生」のテーマで特別講演をいただいた。来賓挨拶として、佐藤雄平福島県知事が挨拶した。さらに、シンポジウムでは、鈴木浩(本学名誉教授)をコーディネーターに、馬場有浪江町長、平野祐康前三宅村長、迫田朋子 NHK エグゼクティブ・ディレクター、天野和彦福島大学 FURE 特任准教授がパネリストとして登壇した。</p> <p>実行委員会を本学教員などが複数参画し、日本災害復興学会実行委員とともに企画運営に携わった。当日は、県内外から多数の研究者・市民が参加し、のべ 3 0 0 名ほどが参加した。</p>